



【発信日】令和4年4月7日

【問い合わせ先】

大野市役所（1階 7番窓口）

地域経済部観光交流課 加藤、田中、松浦

電話 0779-64-4817

貴重な「青葉の笛」のオリジナルは必見！

～7年ぶりに青葉の笛展示～

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で平安末期について関心が高まっていることから、源頼朝の兄であり、現在の泉地区にゆかりのある源義平にまつわる「青葉の笛」を2015年以来7年ぶりに展示し、郷土のあゆみ（おいたち、歴史、文化）についてご紹介します。

事前周知をよろしく申し上げます。

記

1 日 時 令和4年4月9日（土）～5月29日（日）

2 場 所 笛資料館（大野市朝日24-9）

開館時間：9：00～16：00（日曜・祝日は9：00～17：00）

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日

入館料：大人300円、中学生以下無料

3 内 容 通常レプリカの展示であるが、上記期間中、7年ぶりにオリジナルの青葉の笛を見ることができる

4 青葉の笛について

平安時代末期、源頼朝の兄である義平について、和泉地区ではある言い伝えが残されています。

平治の乱で敗れた源氏は、平氏の追跡を逃れるために関東へと逃れました。途中で一行からはぐれた源義平は和泉地区朝日に逃げ延びました。

隠れ住むうちに、里の娘・おみつが子を宿しました。義平は、そのまま朝日で一生を過ごすことも考えましたが、父・源義朝の死を知り、京に上り仇を討つことを決意し、おみつに一管の笛を残しました。

この笛は鹿児島県の台明寺で採れる、笛を作る専用の竹「青葉の笛竹」で作られていることから「青葉の笛」と呼ばれており、全国で8管確認されていますが、朝日の「青葉の笛」が現存する最古といわれています。